

講義コード	1130060	ナンバリング番号	101INF102
講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（材料）		
講義名（英文）	Information Literacy (材料)		
副題		旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期
授業形態		アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	板書／パワーポイント／ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用		
担当教員	葛城 大介※		
実務経験/実践教育			

シラバス

授業概要	情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本講では今後高年次において開講される講義や演習で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つ情報処理技術、すなわちワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。情報処理技術に関連した情報倫理のみならず、近年話題のAIを活用する際に必要な倫理についても学ぶ。 キーワード：電子メール、情報倫理、知的財産権、著作権、図書検索、Word、Excel、AI、ビッグデータ
到達目標	（１）本学演習室が利用できるように環境を整えること。 （２）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。 （３）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。 （４）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。 （５）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
市民としての責任感と倫理感を身につける。	態度・倫理	○
情報リテラシー，数量的スキル，表現力など社会人として生きていくために必要な汎用的能力を身につける。	汎用的能力	◎

※複数数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第 1 回授業内容	環境設定と基本操作	講義の進め方および演習室を利用する上での注意事項を説明する。 また大学から貸与させるアカウントに関連する設定を行う。 Windowsの基本操作を確認する。また、タイピング速度を向上させるためのタッチタイピングの練習方法について学び、テキストエディタを利用して日本語入力方法の確認を行う。	目安時間	2
・・・予習内容	入学時に配布されたアカウント情報通知書の所在を確認し、持参するための準備をする。		目安時間	
・・・復習内容	シラバス、情報処理演習室利用の手引き p. 2, 3の熟読。IPAの情報セキュリティ資料 (https://www.ipa.go.jp/security/index.html)の確認		目安時間	4
第 2 回授業内容	図書検索	本学図書館の司書より、図書館を効率よく利用するための検索方法を学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	本学図書館のホームページを確認する。		目安時間	
・・・復習内容	本学図書館のマイページの登録作業を行う。		目安時間	4
第 3 回授業内容	電子メールの仕組みとマナー	電子メールの書式および配送方法の概要を説明し、本文を記述する上で考慮しなければならないマナーについて学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	情報処理演習室利用の手引 p. 25 - 43の確認		目安時間	

・・・復習内容	情報処理演習室利用の手引き p.25 - 43の熟読		目安時間	4
第4回授業内容	データサイエンス入門	AI・IoT・ビッグデータ等によるSociety 5.0の実現に向けた社会変化とAI・ビッグデータ利活用の最新動向を学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容	配布資料の熟読		目安時間	4
第5回授業内容	情報倫理(1)	サイバー犯罪に関する意識を深め、遭遇した際にどのような振る舞いを取るべきかについて考える。 著作権法について学び、レポートを書くときの引用方法を正しく理解する。	目安時間	2
・・・予習内容	情報倫理ハンドブックの事前確認		目安時間	
・・・復習内容	情報倫理ハンドブックの熟読		目安時間	4
第6回授業内容	情報倫理(2)	ビッグデータ・AIを扱う上で必要となる倫理とセキュリティを学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	情報倫理ハンドブックの事前確認		目安時間	
・・・復習内容	情報倫理ハンドブックと配布資料の熟読		目安時間	4
第7回授業内容	Wordによる文書作成(1)	Wordの基本操作、書式、作表の確認。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第8回授業内容	Wordによる文書作成(2)	特殊な書式設定および図、数式の挿入方法について確認する。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第9回授業内容	Excelによる表計算(1)	Excelの基本操作、扱えるデータ型および簡単な数式や関数入力について確認する。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第10回授業内容	Excelによる表計算(2)	簡単なセルの書式設定を確認し、直感的に見やすい表となるような書式設定の練習を行う。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第11回授業内容	Excelによる表計算(3)	CSVデータの扱いとデータの並び替えおよび抽出	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分および配布資料		目安時間	4
第12回授業内容	Excelによる表計算(4)	各種グラフによる表現。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分および配布資料		目安時間	4
第13回授業内容	Excelによる表計算(5)	分布と代表値。	目安時間	2
・・・予習内容	高校数学Iのときに使っていた教科書		目安時間	
・・・復習内容	配布資料		目安時間	4
第14回授業内容	Excelによる表計算(6)	散布図と相関係数。	目安時間	2
・・・予習内容	高校数学Iのときに使っていた教科書		目安時間	
・・・復習内容	配布資料		目安時間	4
第15回授業内容	総合問題演習	WordとExcelの知識を応用した問題演習を行う。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容	配布資料		目安時間	4

学修時間合計・・・	90
-----------	----

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各到達目標に関連する課題を課す。(1)は10%、(2)、(3)、(4)はそれぞれ20%、(5)は30%で評価する。
ルーブリック添付ファイル	有	
成績評価備考		
その他授業外学習	進度に応じ宿題を課す。	

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	978-4-407-34833-0	
教科書備考	初回講義には入学時に配布された「アカウント情報通知書」を必ず持参すること。			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
インターネット社会を生きるための情報倫理	情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ	実教出版	978-4-407-33031-1	
参考書備考				

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	本講義で学んだことを生かし、他の講義・演習・実験のレポートではWordやExcelを適宜活用してください。
関連する画像・文章・動画URL	3_1_2023_第1段階ルーブリック.docx／第1段階ルーブリック

講義コード	1130050	ナンバリング番号	101INF102
講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（機械）		
講義名（英文）	Information Literacy（機械）		
副題		旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期
授業形態		アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	板書／パワーポイント／ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用		
担当教員	葛城 大介※		
実務経験/実践教育			

シラバス

授業概要	情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本講では今後高年次において開講される講義や演習で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つ情報処理技術、すなわちワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。情報処理技術に関連した情報倫理のみならず、近年話題のAIを活用する際に必要な倫理についても学ぶ。 キーワード：電子メール、情報倫理、知的財産権、著作権、図書検索、Word、Excel、AI、ビッグデータ
到達目標	（１）本学演習室が利用できるように環境を整えること。 （２）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。 （３）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。 （４）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。 （５）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
市民としての責任感と倫理感を身につける。	態度・倫理	○
情報リテラシー，数量的スキル，表現力など社会人として生きていくために必要な汎用的能力を身につける。	汎用的能力	◎

※複数数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第 1 回授業内容	環境設定と基本操作	講義の進め方および演習室を利用する上での注意事項を説明する。 また大学から貸与させるアカウントに関連する設定を行う。 Windowsの基本操作を確認する。また、タイピング速度を向上させるためのタッチタイピングの練習方法について学び、テキストエディタを利用して日本語入力方法の確認を行う。	目安時間	2
・・・予習内容	入学時に配布されたアカウント情報通知書の所在を確認し、持参するための準備をする。		目安時間	
・・・復習内容	シラバス、情報処理演習室利用の手引きp. 2, 3の熟読。IPAの情報セキュリティ資料(https://www.ipa.go.jp/security/index.html)の確認		目安時間	4
第 2 回授業内容	図書検索	本学図書館の司書より、図書館を効率よく利用するための検索方法を学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	本学図書館のホームページを確認する。		目安時間	
・・・復習内容	本学図書館のマイページの登録作業を行う。		目安時間	4
第 3 回授業内容	電子メールの仕組みとマナー	電子メールの書式および配送方法の概要を説明し、本文を記述する上で考慮しなければならないマナーについて学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	情報処理演習室利用の手引p. 25 - 43の確認		目安時間	

・・・復習内容	情報処理演習室利用の手引き p.25 - 43の熟読		目安時間	4
第4回授業内容	データサイエンス入門	AI・IoT・ビッグデータ等によるSociety 5.0の実現に向けた社会変化とAI・ビッグデータ利活用の最新動向を学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容	配布資料の熟読		目安時間	4
第5回授業内容	情報倫理(1)	サイバー犯罪に関する意識を深め、遭遇した際にどのような振る舞いを取るべきかについて考える。 著作権法について学び、レポートを書くときの引用方法を正しく理解する。	目安時間	2
・・・予習内容	情報倫理ハンドブックの事前確認		目安時間	
・・・復習内容	情報倫理ハンドブックの熟読		目安時間	4
第6回授業内容	情報倫理(2)	ビッグデータ・AIを扱う上で必要となる倫理とセキュリティを学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	情報倫理ハンドブックの事前確認		目安時間	
・・・復習内容	情報倫理ハンドブックと配布資料の熟読		目安時間	4
第7回授業内容	Wordによる文書作成(1)	Wordの基本操作、書式、作表の確認。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第8回授業内容	Wordによる文書作成(2)	特殊な書式設定および図、数式の挿入方法について確認する。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第9回授業内容	Excelによる表計算(1)	Excelの基本操作、扱えるデータ型および簡単な数式や関数入力について確認する。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第10回授業内容	Excelによる表計算(2)	簡単なセルの書式設定を確認し、直感的に見やすい表となるような書式設定の練習を行う。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分		目安時間	4
第11回授業内容	Excelによる表計算(3)	CSVデータの扱いとデータの並び替えおよび抽出	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分および配布資料		目安時間	4
第12回授業内容	Excelによる表計算(4)	各種グラフによる表現。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の関連する部分		目安時間	
・・・復習内容	教科書の関連する部分および配布資料		目安時間	4
第13回授業内容	Excelによる表計算(5)	分布と代表値。	目安時間	2
・・・予習内容	高校数学Iのときに使っていた教科書		目安時間	
・・・復習内容	配布資料		目安時間	4
第14回授業内容	Excelによる表計算(6)	散布図と相関係数。	目安時間	2
・・・予習内容	高校数学Iのときに使っていた教科書		目安時間	
・・・復習内容	配布資料		目安時間	4
第15回授業内容	総合問題演習	WordとExcelの知識を応用した問題演習を行う。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容	配布資料		目安時間	4

学修時間合計・・・	90
-----------	----

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各到達目標に関連する課題を課す。(1)は10%、(2)、(3)、(4)はそれぞれ20%、(5)は30%で評価する。
ルーブリック添付ファイル	有	
成績評価備考		
その他授業外学習	進度に応じ宿題を課す。	

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	978-4-407-34833-0	
教科書備考	初回講義には入学時に配布された「アカウント情報通知書」を必ず持参すること。			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
インターネット社会を生きるための情報倫理	情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ	実教出版	978-4-407-33031-1	
参考書備考				

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	本講義で学んだことを生かし、他の講義・演習・実験のレポートではWordやExcelを適宜活用してください。
関連する画像・文章・動画URL	3_1_2023_第1段階ルーブリック.docx／第1段階ルーブリック

講義コード	1130130	ナンバリング番号	101INF102
講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（電子）		
講義名（英文）	Information Literacy（電子）		
副題		旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期
授業形態		アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用		
担当教員	宮城 茂幸		
実務経験/実践教育			

シラバス

授業概要	情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本講では今後高年次において開講される講義や演習で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つ情報処理技術、すなわちワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことを目指す。情報処理技術に関連した情報倫理のみならず、近年話題のAIを利活用する際に必要な倫理についても学ぶ。 キーワード：電子メール、情報倫理、知的財産権、著作権、図書検索、Word、Excel、AI、ビッグデータ
到達目標	1. 本学演習室が利用できるように環境を整えること。 2. 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。 3. 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。 4. ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。 5. 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

学位授与方針との対応		
概要	能力	比重
電子システム工学分野の基礎となる、大学工学部共通基礎レベルの数学、物理学、化学および情報処理技術に関する知識とそれらを応用する能力をみにつける	知識・理解	◎

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第 1 回授業内容	環境設定と基本操作	講義の進め方および演習室を利用する上での注意事項を説明した後、大学から貸与されるアカウントに関連する設定を行う。 Windowsの基本操作を確認し、タイピング速度を向上させるためのタッチタイピングの練習方法について学び、テキストエディタを利用して日本語入力方法の確認を行う。	目安時間	2
・・・予習内容	入学時に配布されたアカウント情報通知書の所在を確認し、持参するための準備をする。		目安時間	
・・・復習内容	シラバスを確認すること。 情報処理演習室利用の手引きおよび配布資料の対応箇所を熟読すること。 IPAの情報セキュリティ資料(https://www.ipa.go.jp/security/index.html)の所在を確認すること。		目安時間	4
第 2 回授業内容	電子メールの仕組みとマナー	電子メールの書式および配送方法の概要を説明し、本文を記述する上で考慮しなければならないマナーについて学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	情報処理演習室利用の手引きおよび配布資料の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	情報処理演習室利用の手引きおよび配布資料の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第 3 回授業内容	データサイエンス入門	AI・IoT・ビッグデータ等によるSociety 5.0の実現に向けた社会変化とAI・ビッグデータ利活用の最新動向を学ぶ。	目安時間	2

・・・予習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第4回授業内容	情報倫理(1)	サイバー犯罪に関する意識を深め、遭遇した際にどのような振る舞いを取るべきかについて考える。 また、著作権法について学び、レポートを書く時の引用方法を正しく理解する。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書、参考書および配布資料の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	教科書、参考書および配布資料の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第5回授業内容	情報倫理(2)	ビッグデータ・AIを扱う上で必要となる倫理とセキュリティを学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第6回授業内容	図書検索	本学図書館の司書より、図書館を効率よく利用するための検索方法を学ぶ。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	4
第7回授業内容	Wordによる文書作成(1)	Wordの基本操作、書式、作表の確認	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	講義内で扱わなかった教科書の課題に取り組むこと。		目安時間	4
第8回授業内容	Wordによる文書作成(2)	特殊な書式設定および図、数式の挿入方法について確認する。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	講義内で扱わなかった教科書の課題に取り組むこと。		目安時間	4
第9回授業内容	Excelによる表計算(1)	Excelの基本操作、扱えるデータ型および簡単な数式や関数入力について確認する。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	講義内で扱わなかった教科書の課題に取り組むこと。		目安時間	4
第10回授業内容	Excelによる表計算(2)	様々なセルの書式設定を確認し、直感的に見やすい表となるような書式設定の練習を行う。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	授業内で扱わなかった教科書の課題に取り組むこと。		目安時間	4
第11回授業内容	Excelによる表計算(3)	CSVデータの扱いとデータの並べ替えおよび抽出	目安時間	2
・・・予習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第12回授業内容	Excelによる表計算(4)	各種グラフによる表現	目安時間	2
・・・予習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第13回授業内容	Excelによる表計算(5)	分布と代表値	目安時間	2
・・・予習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第14回授業内容	Excelによる表計算(6)	散布図と相関係数	目安時間	2
・・・予習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	
・・・復習内容	教科書および参考書の対応箇所を熟読すること。		目安時間	4
第15回授業内容	総合問題演習	Excelの知識を応用した問題演習を行う。	目安時間	2
・・・予習内容	これまでの課題を復習すること。		目安時間	
・・・復習内容	これまでの課題を復習すること。		目安時間	4

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各到達目標に関連する課題を課す。到達目標1は10%、到達目標2、3はそれぞれ20%、到達目標4は10%、到達目標5は40%で評価する。
ループリック添付ファイル	有	
成績評価備考		
その他授業外学習	進度に応じ宿題を課す。	

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	978-4-407-34833-0	後期に開講される情報科学概論でも使用する。
基礎テキスト はじめてのAIリテラシー	岡嶋裕史、吉田雅裕	技術評論社	978-4-297-12038-2	
教科書備考	初回講義には入学時に配布された「アカウント情報通知書」を必ず持参すること。			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
インターネット社会を生きるための情報倫理	情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ	実教出版	978-4-407-33031-1	後期開講の情報科学概論でも一部参照する。
データサイエンス入門シリーズ 教養としてのデータサイエンス	内田誠一他	講談社	978-4-06-523809-7	
参考書備考				

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	本講義で学んだことを生かし、他の講義・演習・実験のレポートではWordやExcelを適宜活用してください。
関連する画像・文章・動画URL	